

# 「親子ふれあいミーティング」開催事業

青少年育成茨城県民会議では、親と子の相互理解を深め、あわせて地域全体で青少年を育む地域づくりを推進するために県内4団体を指定して、親と子、地域の青少年育成関係者が一堂に会し、家庭や地域のあり方などについて意見交換を行う「親子ふれあいミーティング」を開催しました。

実施に当たっては、指定を受けた青少年育成市町村民会議が中核となって、市町村PTA協議会、学校や地域の青少年関係団体からなる運営委員会を組織してプログラムの企画運営を行い、各地域の特色を活かした内容とすることができました。

当会議からは、この運営委員会へ担当役員をアドバイザーとして派遣するなどして、実施団体と協働で実施しました。

11/26 (土)

水戸市

水戸市青少年育成推進会議 四中地区青少年育成会

## 話し合いのテーマ

東日本大震災を通して、地域・親子・友達等について見直し、家族愛、家族の絆、地域とのより良い関係づくりについて考える。

## プログラムで工夫した点

阪神淡路大震災をテーマにした映画「地球が動いた日」を鑑賞し、話し合いの材料にした。

## 主な内容

映画鑑賞会  
分科会  
全体会

## 参加者の声

- 人は一人では生きられない。
- 人間関係の大切さ、協力しあう心が大切であることが分かった。
- 自分の家族について、じっくり考える良い機会になった。



【分科会での話し合い】

2/8 (水)

石岡市

青少年を育てる石岡市民の会

## 話し合いのテーマ

中学生は携帯・パソコンを使っていいのか？

## プログラムで工夫した点

- テーマの答えよりも話し合いの過程に重点をおいた。
- 分科会で付箋紙を用いて自分の意見を書き、その付箋紙を全体会で貼り出した。

## 主な内容

親子給食  
分科会  
全体会

## 参加者の声

- 親からの意見を聴くことができよかった。
- 相手の意見をしっかりと聞くということが大切だと思った。
- 子どもの意見に感心させられた。



【集約された意見を基に全体会】

1/25 (水)

境町

青少年健全育成さかい町民の会

## 話し合いのテーマ

親に伝えたい気持ち、子に伝えたい気持ち

## プログラムで工夫した点

- 親子のふれあいの機会を考え、親子陶芸教室や親子給食を取り入れた。
- グループでの話し合いを2つのパターンで行った。  
①子どもグループ、親グループ  
②親子が一緒にならない混合グループ

## 主な内容

親子陶芸教室、親子給食、エンカウンター、グループ討議、全体会

## 参加者の声

- 他の保護者の子に対する思いを聞くことが出来て良かった。
- 素直な子どもたちの意見を聞いて、反省する点が多々あった。
- 子どもに正面から向き合えた。



【親子陶芸教室】

2/19 (日)

坂東市

青少年育成坂東市民会議

## 話し合いのテーマ

- 社会に思うこと、あいさつについて
- 親に望むこと、子に望むこと、家での約束ごと
- 地域の良いところ、ふるさとに思うこと
- 携帯、パソコン、ゲームについて考える

## プログラムで工夫した点

- 市内全小学校（13校）の4年生～6年生の親子を対象に募集した。
- 子どもが気を使わず発言できるように、親子別々の分科会にした。

## 主な内容

分科会、全体会

## 参加者の声

- 親の思っていることがわかり参考になった。
- 子どもとの時間をもっと増やしていきたい。
- 親の生活態度が重要だと思う。



【挙手で子どもの意志表示】